

# お わ り に

地域で生き生きと子どもたちが行動し活躍する場面を、今年も地域ふれあい活動の中で多く目にすることができた。また、青少年健全育成市民大会では、堂々と自分の意見を発表する自信に満ちた子どもたちを見ることができた。このような素晴らしい姿を見せる子どもたちの様子から、本人の頑張りもさることながら、地域の方々、父母、先生らの陰ながらの支援を感じることができた。

本市の取り組みである「地域で、家庭で、学校で地域の子どもたちを育てよう」としている姿勢は、良い成果を出している。警察が関わる問題行動は少なくなり、街頭補導での気になる子どもの数は激減をしている。しかし、残念ながら不登校・ひきこもりなどの増加は、気になるところである。それは、本市だけの問題でなく、全国的な傾向として社会問題化している。社会の変化に伴う子どもたちの生活の変化が大きく関連していることが予想される。

スマホ・SNS・ゲーム等々、子どもたちの生活の中でも、ネットに関わるウエイトが年々大きくなってきている。友人関係においても、SNS などによる特定の仲間やグループでの交流や、スマホによるコミュニケーションしかできず、リアルな対応ができない子どもが多くなっている。そうした流れの中で、孤立や引きこもり、不登校などの気になる事例も多くなってきたと想像できる。

そうした社会や時代だからこそ、人との関わりを意識して、目と目、顔と顔を合わせて声をかけ合いたいものである。「ありがとう」「すみません」「お願いします」などの、簡単な一言が人間関係を、そして生活を豊かに楽しくできるのではないだろうか。

本市が取り組んでいる地域ふれあい活動は、まさしく人との関わりを大切にした取り組みである。一人だけでなく地域の多くの方と協力して地域・家庭・学校での人間関係を築く大切な取り組みであるといえる。こうした実践を大切に、今後も継続していきたい。

最後に、本年度も青少年健全育成に関わる多くの方々のご尽力により、様々な育成活動が展開できたことに、改めて感謝申しあげたい。

### ＜表紙のマーク＞

平成 22 年度一般公募により決定した蒲郡市青少年健全育成地域活動のシンボルマークです。

水色は蒲郡の美しい海、オレンジは若さ明るさをイメージし、「地域の人々の手で明るく青少年を守ろう」のコンセプトで作成されています。

発行日	令和 2 年 2 月 1 日
発行	蒲郡市教育委員会
編集・印刷	蒲郡市青少年センター
〒443-0034 愛知県蒲郡市港町 17-17	
生命の海科学館内	
電話 0533-66-1168	
製本	親和原田プリント(株)